



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行6月20日 No 235

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



丈夫な子供は健康な歯から…

6月4日から10日までは「歯の衛生週間」。むし歯や歯槽膿漏の予防に努めるとともに、早期発見・早期治療に心がけ、健康な体をつくりましょう。

(写真は長田保育所の園児)

平成元年
/ 6月号

校章・校歌が決まる

三股西小で開校式



式典に先立って、全校児童がメッセージ付風船を飛ばす。

町内六番目の小学校として今年開校した三股西小学校（三原正生校長、児童六百五十三名）の開校記念式典が、六月四日、盛大に開催されました。

まず午前九時に運動場で、全校児童がメッセージ付けた風船を空に飛ばした後、十時から体育館で式典。四年生以上の児童や教職員、PTA、来賓など約七百名が参加しました。

式典では、教育委員会側の建設経過報告や校章・校歌の披露などが行われた後、桑畑町長が「今日の感激を忘れず学校を愛し、一生懸命勉強してすばらしい校風をつくってください」と式辞を述べました。

その後、工事関係者や校章・校歌の創作者に対して感謝状が贈られた後、来賓祝辞が続く。最後に全校児童を代表して東直子さんが「私たち六年生が中心になって、皆んなで新しい伝統を築いていきます。花づくりをして、花のきれいな学校にしたい」とお礼の言葉を伸ばしていくよう、全教職員が一体となって特色ある学校づくりに取り組んでいきたい」と決意を述べました。

式典後は、アトラクションとして新馬場の棒踊りや児童の器楽演奏



奏が披露され、会場から盛んな拍手が送られていました。



校旗の引渡し式



式典に花を添えた新馬場棒踊り

三股西小学校・校章

太陽の中に子供が両手を上げ大空に向かって飛躍している様を意匠化。それを囲む三本の線は、「三股」を意味する。

三本の線はそれぞれ「飛躍の線」「創造の線」「友愛の線」を意味しこれらを平和の象徴の鳩を意匠化し組み合わせることによって飛翔を表し三股西小学校からはばたいてほしいという願いが込められている。

又、中心に立つ先生に見守られながら飛躍していく子供達をイメージしている。



デザイン 森 直人

三股西小学校校歌

一、緑の風が ふきかよう
さつき花 さきほこり
やさしき思い みちあふれ
正しく強く 育ちゆく
三股西のあかるきわれら
手に手をとって 進もうよ

二、澄みわたる空 ながれゆく
霧島は そびえたつ
大きな夢に みちあふれ
理想にもえて 学びあう
三股西のあかるきわれら
希望をめざして 進もうよ

三、熱きところが むすびあい
ひがしだけ 豊かなる
力と勇気 みちあふれ
輝く明日 ひらきゆく
三股西のあかるきわれら
未来にむかって 進もうよ

作詞 桑畑徳次郎
作曲 女子分花子



森直人さん (下新)

デザイナー。昭和二十五年四月生まれ、大阪芸術大学デザイン学科卒業。
「私の作品が校章に採用されてとても感激しています。」



桑畑徳次郎 教育長



女子分花子さん (都城市立野町)

宮崎女子短期大学非常勤講師。元小学校教諭。昭和十四年七月生まれ。
「校歌を作曲できて大変光栄です。子供たちに明るく元気に歌って欲しいと思っています。」

ハンディーを克服 身障者スポーツ大会



- 陸上 山之内義光 二千円 二位
満口 義信 三千円 三位
猿渡ともみ 砲丸投げ 三位
- 体操 男子総合 三位
- テニス 男子二位 女子二位

県民スポーツの祭典「第四十三回県民体育大会」が五月二十七、二十八日の二日間、県総合運動公園を中心会場として開かれました。本町からは、陸上競技をはじめ十五種目に百八十一名が郡代表として出場し、各種目で熱戦を展開しました。

本町関係の上位入賞者、チームは次のとおり

県体各種目で熱戦を展開

本町から181名が出場

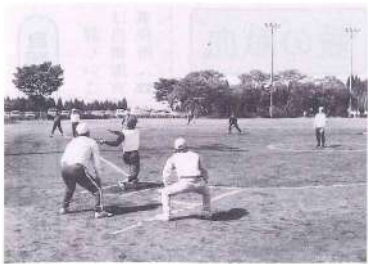


男女そろって準優勝した硬式テニスチーム

去る五月十四日、第二十七回県身障者スポーツ大会が県総合運動公園で開催されました。当日は好天に恵まれ、体の不自由にもげず一生けんめい競技する選手に、観客から盛んな拍手が送られていました。

本町関係の上位入賞者は次のとおり

- 上村利男 二百走 第二位
- 前村光治 走幅跳 優勝
- 下沖秀清 砲丸投 優勝
- 蔵元能時 走り幅 優勝
- 坂元幸子 走り跳 第二位
- ゲートボール男子 C 優勝



二十二チームが参加 社年ソフトボール大会

第十回社年ソフトボール大会が五月十四日、旭ヶ丘運動公園を中心会場として開かれ、二十二チームが熱戦を繰り広げました。

試合は、打撃を優先したスローピッチ・ルール、十人制を採用し、四十歳代の部と五十歳以上の部に分けて行われました。

結果は次のとおり（優勝のみ）

- 四十歳代の部
- 七地区 A B 四地区
- 五十歳以上の部
- 二地区 A



太公望が釣果を競う!! 鯉八百キロを放流

町淡水漁業協同組合（片之坂英雄組合長）が主催する恒例のつり大会が五月十三日と十四日の二日間、岩下橋下流で行われました。

同組合では鯉八百キロを大会用として放流。

大会は、両日とも好天に恵まれ、大勢の太公望が釣りの醍醐味を楽しんでいました。

遺跡の発掘調査が進む

（今市地区）



土人形や古銭、 陶磁器類が出土

年見川小規模河川改修事業に伴う遺跡発掘調査が、去る二月から今市で進められています。これは、県教育委員会文化課が行っているもので、発掘作業には七地区の高齢者約二十名が協力。現在、鎌倉時代から江戸時代までの館跡や青磁、白磁、土師器などの陶磁器類、土人形、古銭、鉄製品などが出土しています。

調査地区の西側百五十坪には、高津家発祥の地とされる「祝吉御所跡」があり、今後発掘が進むに従って更に多くの遺物が出土するものと思われています。

なお、発掘調査は平成三年三月

町の話題



県議文教委が視察

まで続けられることになってい

公民館長、部長 支部長研修会



町は平成元年度の公民館長、部長、支部長研修会を五月二十八日に開催しました。

これは、町行政のしくみについて理解を深めてもらい、今後一年間の行政事務連絡や納税等の徴取事務を円滑に進めていただくことと開いたもの。

当日は、町内全地区から関係者多数が出席され、町担当者の説明に熱心に聞き入っていました。

おしらせ



税務職員募集

人事院と熊本国税局では、税務職員（税務大学校普通科研修生）を募集しています。

国家公務員採用Ⅲ種試験（税務）に合格し、採用されますと、税務大学校普通科に入校します。

税務大学校普通科では、一年間税務の専門教育を受け、その後、税務職員として、国税の仕事に従事することになります。

受験資格は、昭和四十四年四月二日から昭和四十七年四月一日までに生まれた者で、試験の程度は

今日の納税
県町民税Ⅰ期
税金は滞納しないよう
早めに納入しましょう

高校卒業程度となっています。受験申込受付期間は、七月五日（水）から七月十二日（水）まで、申込用紙は国税局又は税務署に備えてあります。

詳しいことは、熊本国税局の人事課第二課や都城税務署の総務課にお問い合わせください。

○熊本国税局人事第二課
（☎〇九六一三五四一六一七）
○都城税務署
（☎二二四三三七七）

覚せい剤追放にご協力を

「白い粉」と呼ばれる覚せい剤は、一般市民をはじめと青少年や主婦層にまで浸透してきています。覚せい剤を始める動機のひとつは、「好奇心から」「人に勧められて」という単純なもので、疲労回復剤・強精剤・痛止め、やせ薬といった警戒心をゆるめる言葉で近づいてくる時もあります。

覚せい剤の防止は、一人ひとり覚せい剤の恐ろしさを良く認識することです。まず「近寄らない」、そして「近づけない」ことが大切です。

覚せい剤の話の聞いたときは、勇気をもって警察へ知らせましょう。

自衛官を募集しています

詳しいことは役場総務課、または自衛隊宮崎地方連絡部都城募集事務所（☎二二二一三九九四）まで。

愛の献血



次のとおり献血にご協力いただきました。

○六月五日
都城運輸免許センター 七十四名
都城農協三股支所

誠にありがとうございます。今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いします。

一般寄付

中米集落 一万五千元

中米集落（中村美知男部長）は、四月二十九日の早馬祭りに「ジャンカ馬踊り」を奉納され、その益金を社会福祉事業に役立てて下さいと寄付されました。

誠にありがとうございます。

愛の「寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義にご利用させていただきました。誠にありがとうございます。

平成元年五月一日から
平成元年五月三十一日まで

寄付者 続柄 故人名 地区 金額
那須重美子 母 ムツノ 花見原 三万円
野崎ミヨ子 夫 樟 飯塚 五万円
肥川キエ 夫 嘉見 飯塚 三万円
寺本 義則 父 与次郎 植木 二万円
田上 武雄 義母 山内マサ 植木 三万円
向田 久光 父 実義 山王原 五万円

三股町の人口

平成元年6月1日現在
男 9,583人 出生 23人
女 10,698人 死亡 14人
計 20,281人 転入105人
前月比+56人 転出 58人
世帯数 6,640戸

